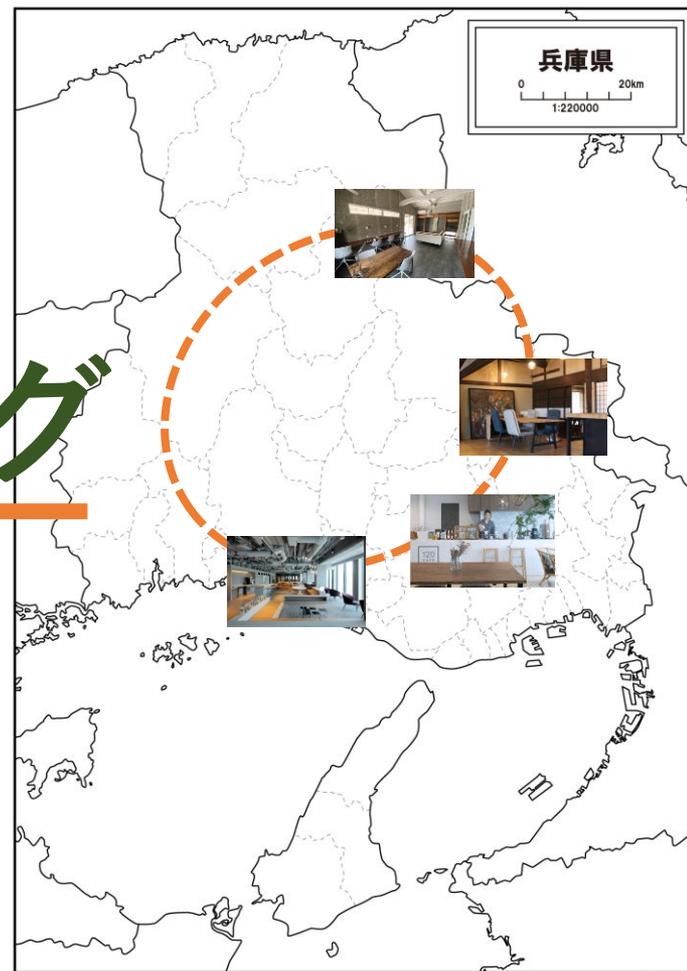


災害時連携協定を基盤にした

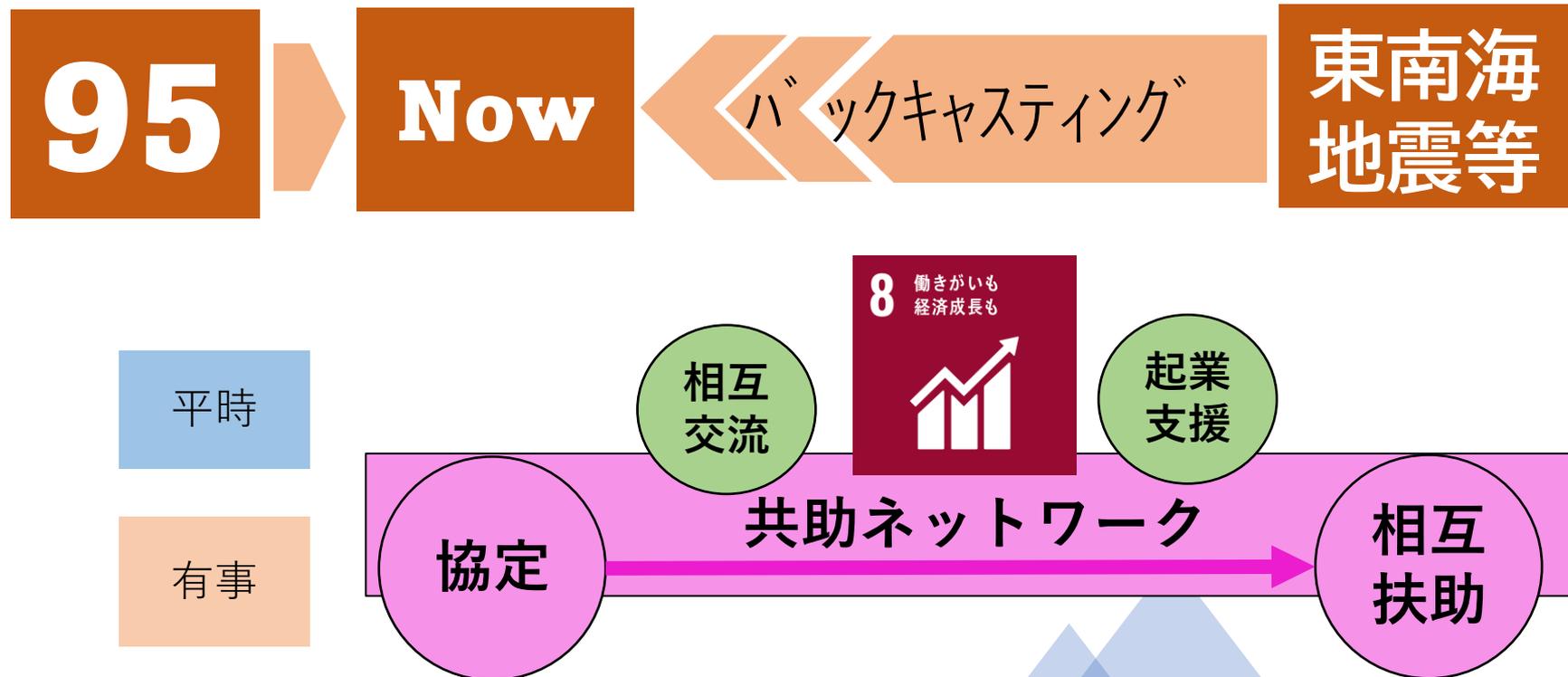
兵庫版コワーキング 連携協議会

へのお誘い



「共助」からの兵庫創生【目的】

私たちは「災間社会」で事業を営んでいます。阪神・淡路大震災で培われた共助の心を基盤に、将来の災害時に相互扶助を有効に働かせるゴールを共有します。そこから現在を振り返り、SDGs目標8「働きがいも経済成長も」を念頭に、コワーキングスペースの連携を活かした事業を進めます。



平時における事業アイデア(案)

【事業目的】

SDGs目標8「働きがいも成長も」を実現

【事業例】

事業ごとに賛同する参加施設を募って実施

平時

働きがいのある環境創出

コワーキングスペースのネットワーク充実を図り、県下に広がるビジネス環境としての魅力を高め、企業誘致やジョブ型移住を促進する。

マルチサテライト法人契約

1契約で県下各所のサテライトオフィスを利用できるサービス：各所でテレワーク人材を採用し自宅以外の職場を提供可能。あるいは地方営業の拠点として利用など。

横断型会員パス

1契約で県下のコワーキングスペースを自由に利用できる会員パスの発行。ゲストハウスと連携することでノマドワークなど。

起業・イノベーション支援

利用者の交流を促進することを通じ、アントレプレナーの発掘やノウハウ交換、あるいは事業連携を促し、起業やイノベーションを促進する。

往来ウィーク

それぞれの施設でイベントを行い、相互参加を可能とする特定の週間。

起業ピッチ

コワーキング利用者による起業ピッチトーナメントを通じ県下の起業家に見える化。

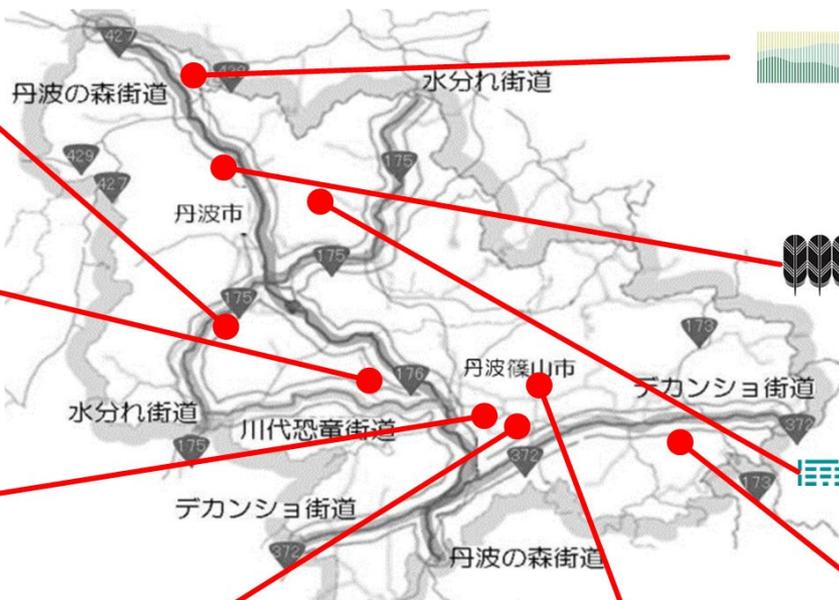
有事

相互扶助

機能を提供できなくなった施設の利用者に対して、他施設での利用ができるように支援する。

【事業例】 コワーキング往来ウィーク

■丹波コワーキング・ネットワーク



NOTE



T a o s
Guest House



特定の1週間、各所の特徴を活かしたイベントをオープン開催、会員の相互参加を促し、認知度向上や交流による新事業創出を狙います。

設立発起人グループ

呼びかけ

シリ丹バレー・たんばコワーキングスペースネットワーク分科会

支 援

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科 澤田研究室

一般社団法人まち・ヒト・未来創造研究所

事務局

兵庫県丹波県民局



TAMBA Innovative Challenge

シリ丹バレー

シリ丹バレーは、丹波地域において、産学官民が一体となって地域発のイノベーションを推進するためのプラットフォームです。

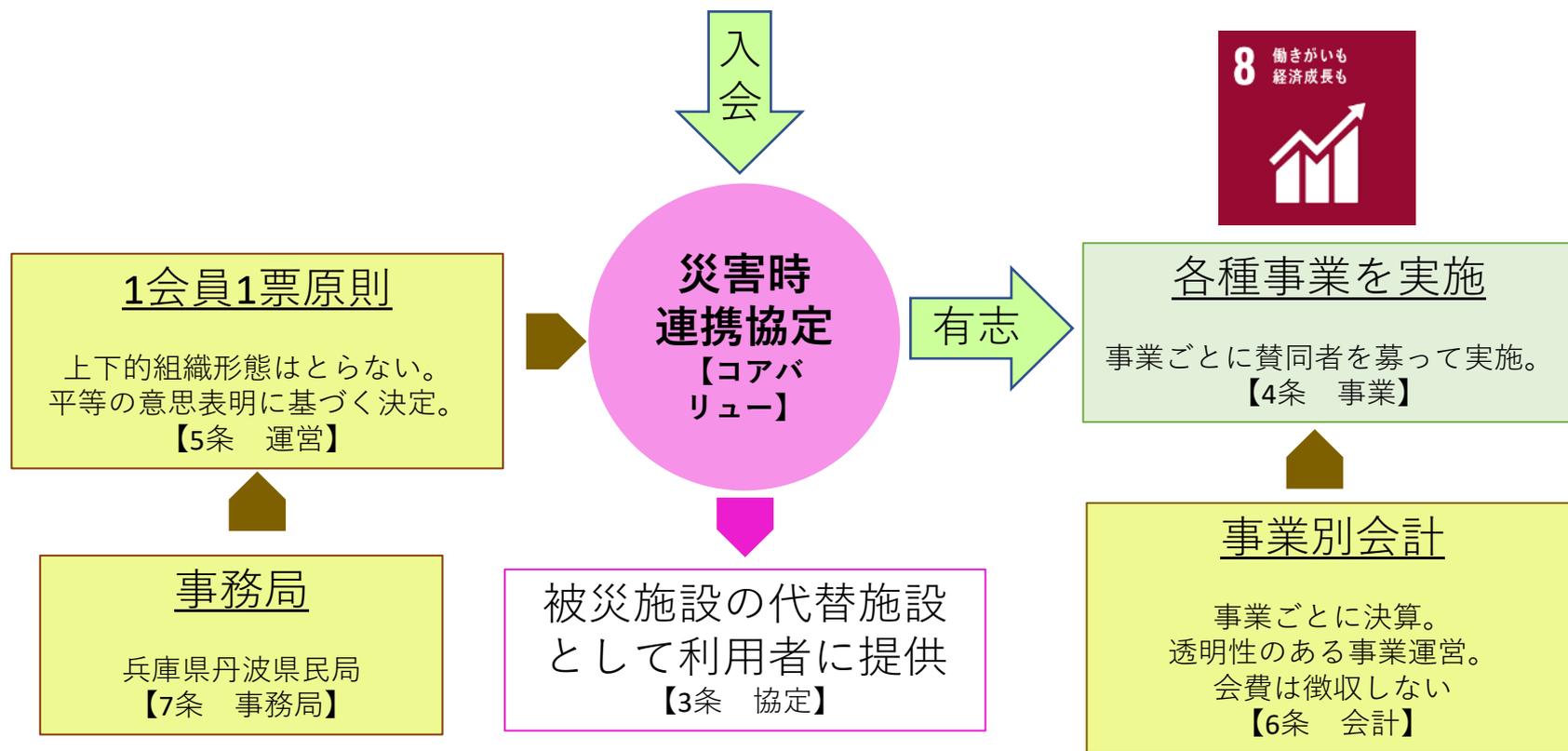
協議会の運営(協議会規約の構成)

【1条 趣旨】

- ・ 災害時相互扶助
- ・ 平時の連携

【2条 組織】

- ・ コワーキングスペース
- ・ ゲストハウス等協力施設
- ・ その他



※自律分散型の組織運営を参考に、民主的な組織運営を想定しています。

スケジュール

1月

16

設立説明会

2月

16

発足時会員確定

3月

発足(報道発表)

※申 込 先：兵庫県丹波県民局

※設立発起人代表：NPO法人情報社会生活研究所（iso乃家）

＝たんばコワーキングスペース・ネットワーク代表
一般社団法人まち・ヒト・未来創造研究所